

---

# 23年産米の放射性物質検査と その結果について

---

農林水産省 消費・安全局  
参事官 吉岡 修

# 農産物の放射性物質調査に関する 農林水産省の基本方針

- 国民に安全な食料を安定して供給する。
- 上記の目的の範囲内で、放射性物質検査が円滑かつ迅速に行われるよう関係県・生産者を科学的、資金的に支援する。
- 厚生労働省に協力する。

---

# 農産物の放射性物質に関する 農林水産省の対応

- 農畜産物検査の企画・立案への協力(厚労省)
  - 農畜産物検査への協力(関係県)
  - 検査計画策定への助言(関係県)
  - 検査機器整備(助成、貸与)への協力(関係県)
-

---

# 23年産米への対応

## 1 作付制限

国民の主食で摂取量が多い。暫定規制値を超える米が生産されないよう作付制限を実施。

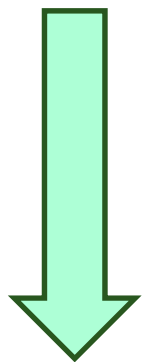
## 2 米の放射性物質調査

収穫前と収穫後の2段階で調査を実施。

## 作付制限 ①

1959年から2001年まで、全国17か所の水田の土壌と収穫された米の放射性セシウムを分析した結果(計564データポイント)を解析

※ 海外の核実験等の米への影響について過去に蓄積されたもの



- 土壌の種類による差がないことを確認
- 各データポイントでの玄米中及び土壌中の放射性セシウム量の比(移行係数)を算出し、モデル化

## 作付制限 ②

土壌から米への放射性セシウムの移行係数は、

- ① 土壌中の放射性セシウム濃度が低いほど大きくなる傾向がある
- ② 時間の経過とともに放射性セシウムがより強く土壌に吸着されるため小さくなる



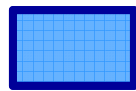
水田土壌から玄米への放射性セシウムの移行の指標を設定 **0.1** (幾何平均値は0.012)

消費者の健康保護に配慮し、安全サイドにたった数字

# 作付制限 ③

避難地域等に加え、「移行の指標」からみて、生産した米が食品衛生法上の暫定規制値を超える可能性の高い地域として、

①警戒区域



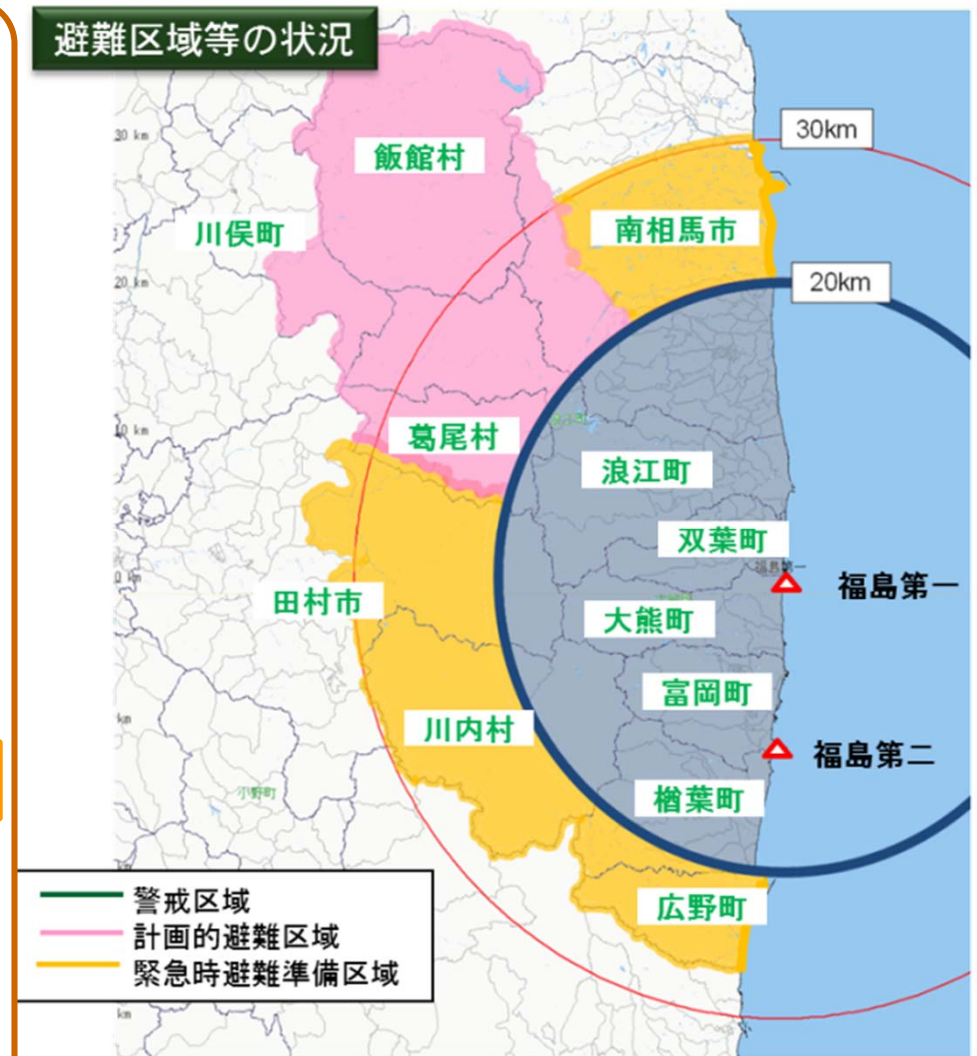
②計画的避難区域



③緊急時避難準備区域



における平成23年産の稲の作付制限を指示。(4月22日)



# 米の放射性物質調査

土壌の放射性セシウム濃度が高い(1000 Bq/kg以上)市町村等において、

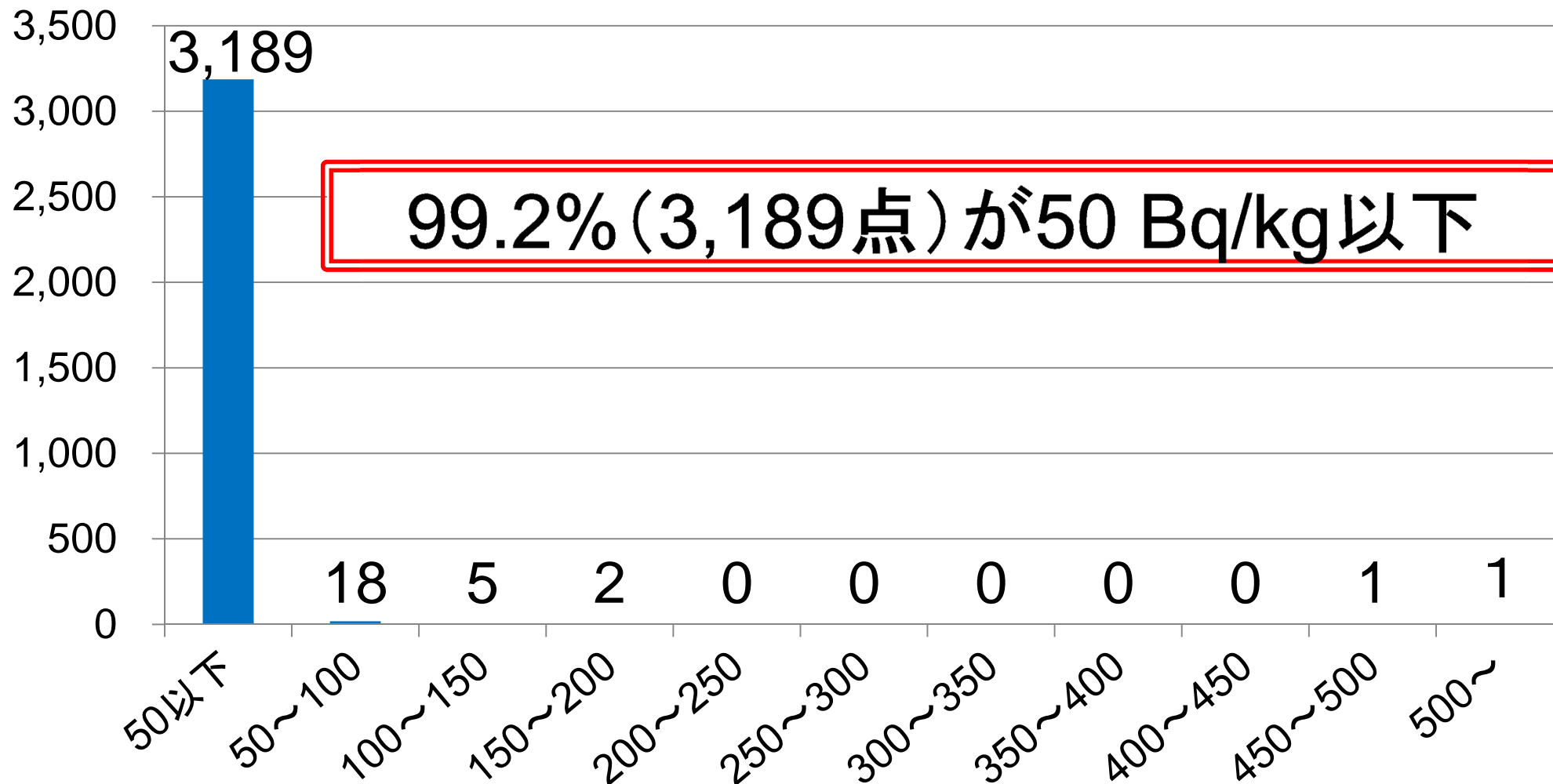
- ① 予備調査: 収穫適期前の玄米で、あらかじめ放射性物質濃度の傾向を把握
- ② 本調査: 200 Bq/kg以上の濃度の玄米があった地域は重点的に調査を実施  
収穫後に放射性物質濃度を測定し、出荷制限の要否を判断

万が一、放射性セシウム濃度が暫定規制値を超えた場合は、その地域の米は出荷制限のうえ、全て廃棄



# 調査結果(17都県:3,216点)

(調査点数)

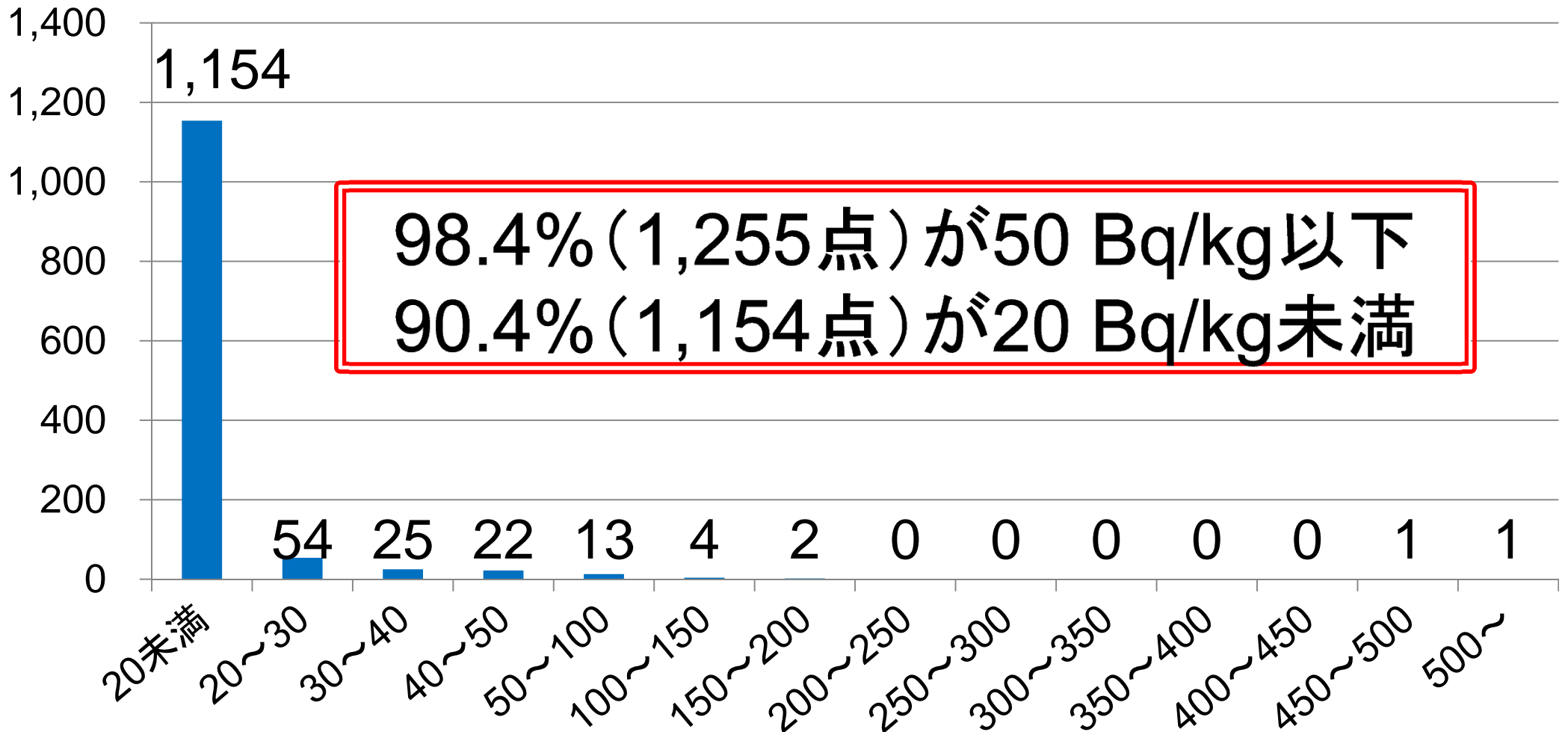


(注) 11月16日までに厚生労働省が公表したデータに基づき作成。放射性セシウムの暫定規制値は、500 Bq/kg。

(放射性セシウム濃度, Bq/kg)

# 調査結果(福島県:1,276点)

(調査点数)



98.4% (1,255点) が50 Bq/kg以下  
90.4% (1,154点) が20 Bq/kg未満

(注) 11月16日までに厚生労働省が公表したデータに基づき作成。放射性セシウムの暫定規制値は、500 Bq/kg。

(放射性セシウム濃度, Bq/kg)

# さらなる情報を見るために

- 食品中の放射性物質の検査結果

- 農林水産省のホームページ(食品の種類や産地ごと等)

[http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/s\\_chosa/index.html](http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/s_chosa/index.html)

- 厚生労働省のホームページ(毎日の結果、暫定規制値 等)

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

- 関係省庁等の情報へのリンクをまとめたポータルサイト

[http://www.maff.go.jp/noutiku\\_eikyo/index.html](http://www.maff.go.jp/noutiku_eikyo/index.html)